

本永さん 県医事功労表彰

宮古病院長 包括的地域医療を実践

宮古病院長の本永英治さんはこのほど、2021年度沖縄県医事功労者県知事表彰を受賞した。離島医療の場で積極的に住民との関係を構築し、信頼できる人間関係の中で統合的かつ包括的地域医療を実践していることが評価された。本永さんは9日、会見で報告し今後の決意を語った。

本永さんは1957（昭和32）年1月25日生まれ。65歳。平良西里出身。自治医科大学卒業。県立名護病院を皮切りに40年近く地域や離島医療に多大な貢献を果たしている。2011年4月から宮古病院副院長、17年から院長に就任。地域の中核病院として役割を担うべく、日々活動を行っている。

表彰は県公務員医師会が推薦した。職員をひとつにまとめ上げ▽電子カルテの導入▽基幹型初期研修施設や総合診療基幹型後期研修施設、病理診断科の認定▽医療・介護連携システムの構築などを実現させたことを功績に挙げた。

2004年から17年までの13年間は宮古地区全域の保健、医療、福祉など各領域を網羅する地域連携協議会の初代会長として、より良い地域医療の実現に向け尽力。現在は包括ケア病床設置に向け取り組むほか、新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ、本部長として職員と団結し医療提供体制の継続に務めていると評価した。



県医事功労者表彰を受賞した本永英治さん
|| 宮古病院